2023年11月10日

各　位

会　社　名　あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　山口　隆
（コード番号　4886　東証プライム）
問い合わせ先　グループ経営企画部長　小林　秀昭
（TEL. 03-5484-8366）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は資本収益性向上に向けた取り組み、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状評価を行い、改善に向けた方針・取り組みを継続的に議論してまいりましたので、内容についてお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社は「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の社会に貢献する」を経営理念に、2021 年から 5 か年計画の中期経営計画 2025 において「スペシャリティファーマを基盤としたトータルヘルスケアカンパニー」を目指し、取り組みを強化しております。中核である国内医療用医薬品事業は毎年薬価改定の影響を受けるなど大変厳しい状況が続いていますが、当社の ROE は 3 期連続増益の中で 8%台まで向上しており、中期経営計画 2025 の目標値である 8%を上回っている状況です。一方で、PBR は 2019 年 3 月期以降 1 倍割れの状況が続いております。PBR1 倍割れの背景は、成長戦略の実現性が十分に理解されていないこと、対外的な発信が十分でなかったこと、また、具体的なキャッシュアロケーションの開示がなく、成長戦略及び株主還元に対する明確な方向性を示していなかったことが要因であると考えます。加えて、当社の本業で稼ぐ力について市場の評価が十分に高まっていないことも要因の 1 つであると評価しております。

5 か年分の財務指標

		2019 年 3 月期	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期
売上高	百万円	46,706	52,542	55,181	56,607	60,461
営業利益	百万円	1,782	1,507	3,609	4,795	5,108
当期純利益	百万円	1,744	649	2,713	4,290	4,238
ROE	%	4.1	1.5	6.3	8.8	8.2
PBR	倍	0.76	0.72	0.97	0.73	0.65
期末株価	円	1,146	1,098	1,471	1,263	1,189

2. 改善に向けた方針

市場評価の改善に向け、決算説明会やパイプライン説明会などの実施を通じ成長戦略を発信する IR 活動を引き続き強化してまいります。また、成長戦略の実現性を高めるとともに株主の皆様への期待に応えるため、最適なキャッシュアロケーションを検討し、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて対応をしてまいります。政策保有株式については純資産に占め

る比率を 2024 年 3 月末までに 20%未満にすることとして、継続的な縮減を図っていきます。

3. 具体的な取り組み

１）成長戦略

医療用医薬品事業においては、産婦人科領域でリーディングカンパニーとしての立ち位置を更に強化し、アニマルヘルス事業においてはコンパニオンアニマル領域への事業展開を進めております。研究開発型企業として創薬研究を強化するとともに、トータルヘルスケアカンパニーとして更なる成長のため、事業活動で獲得したキャッシュを医療用医薬品事業に加えて、2025 年時点で経済全体に及ぼす効果が 2 兆円と試算されるフェムテックなどの新規事業、更には海外展開などの各分野に投資することで、従来にも増して成長戦略を実施してまいります。同時に人的資本への投資、生産設備の更新・拡充など、経営基盤の強化にも尽力してまいります。

２）株主還元の強化

当社は株主還元を重要な経営課題と認識しております。従来の方針として株主の皆様に対して安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としておりました。2024 年 3 月期は堅調な業績に加え、政策保有株式売却に伴う特別利益を考慮し、従来の一株当たり年間 20 円の配当から同年間 40 円の配当に引き上げる予定です。2025 年 3 月期以降は業績連動利益配分方式に移行し、連結配当性向 30%を目安としてまいります。また、一株当たり配当金の下限は年間 30 円として、業績に連動した利益還元を行いつつ安定的な配当を維持してまいります。自社株式取得については、成長投資、配当水準、手元資金や株価水準などを総合的に勘案し、適切なタイミングで機動的に実施していくことを検討いたします。

３）IR 活動の強化

成長戦略に関する理解を深めて頂く機会を更に創出してまいります。個人投資家・機関投資家向け説明会の強化、株主や投資家との建設的な対話（IR ミーティング）の継続、スモールミーティングやパイプライン説明会など、新たな対話の機会を提供していきます。また、当社の認知度を向上させるため、サステナビリティ活動や各種情報開示を充実させ、ホームページへの掲載情報を拡充してまいります。

以 上

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について

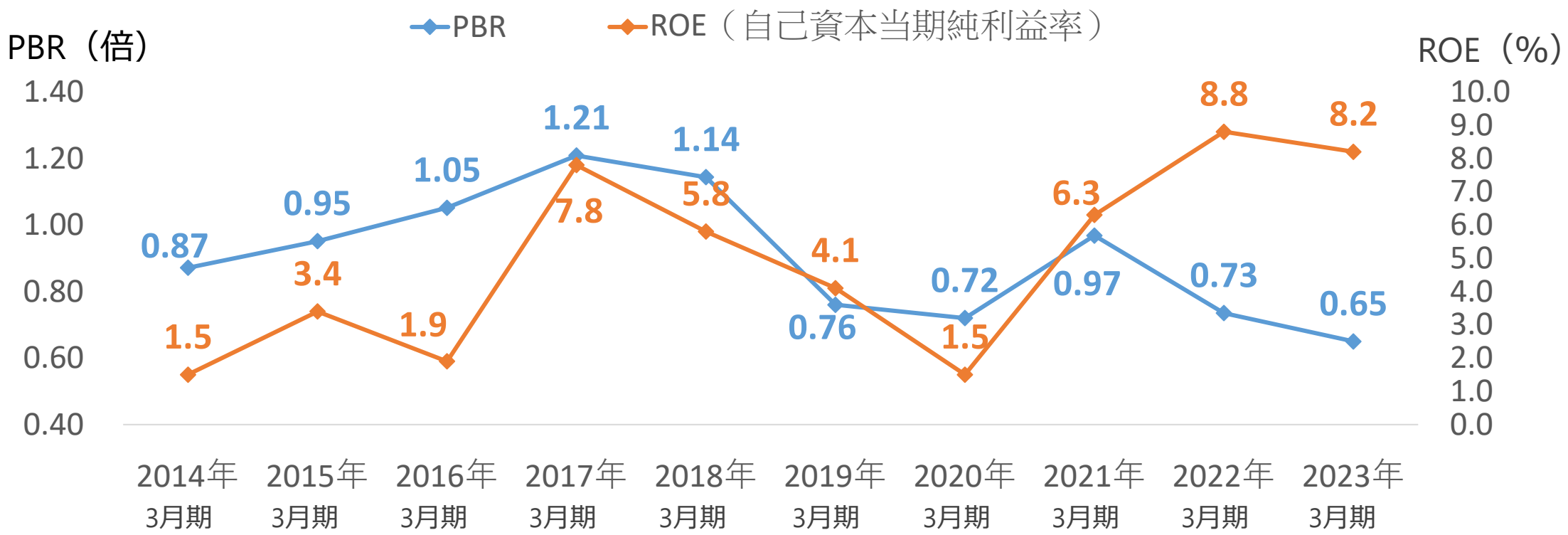
事業環境

事業環境について

毎年の薬価改定などの医療費抑制政策、医薬品の品質・供給問題、創薬難易度の上昇などによる市場環境の変化に加えて、ロシア・ウクライナ紛争を始めとする国際情勢の変化、世界的サプライチェーンの混乱、エネルギー、原材料、賃金などの上昇に伴うコスト増など社会環境の変化が重なり大変厳しい状況が継続。

今後の見通しは不透明で、厳しい状況が続くと想定されるが、
外部環境の変化に対応し成長を目指していく

PBRとROEの推移



PBR1倍割れの現状を踏まえ、現状評価を行い改善に向けた方針、
具体的な取り組み等について役員会にて複数回の協議を実施

※2014-2023３月期までのPBRは期末株価にて算出、2014年～2021年3月期はあすか製薬株式会社、
2022年3月期以降はあすか製薬ホールディングス株式会社

現状評価と改善に向けた方針

【現状評価】

✓ 当社のROEは3期連続増益の中で8%台まで向上しており、中期経営計画最終年度である2026年3月期の目標値8%を超えている状況。

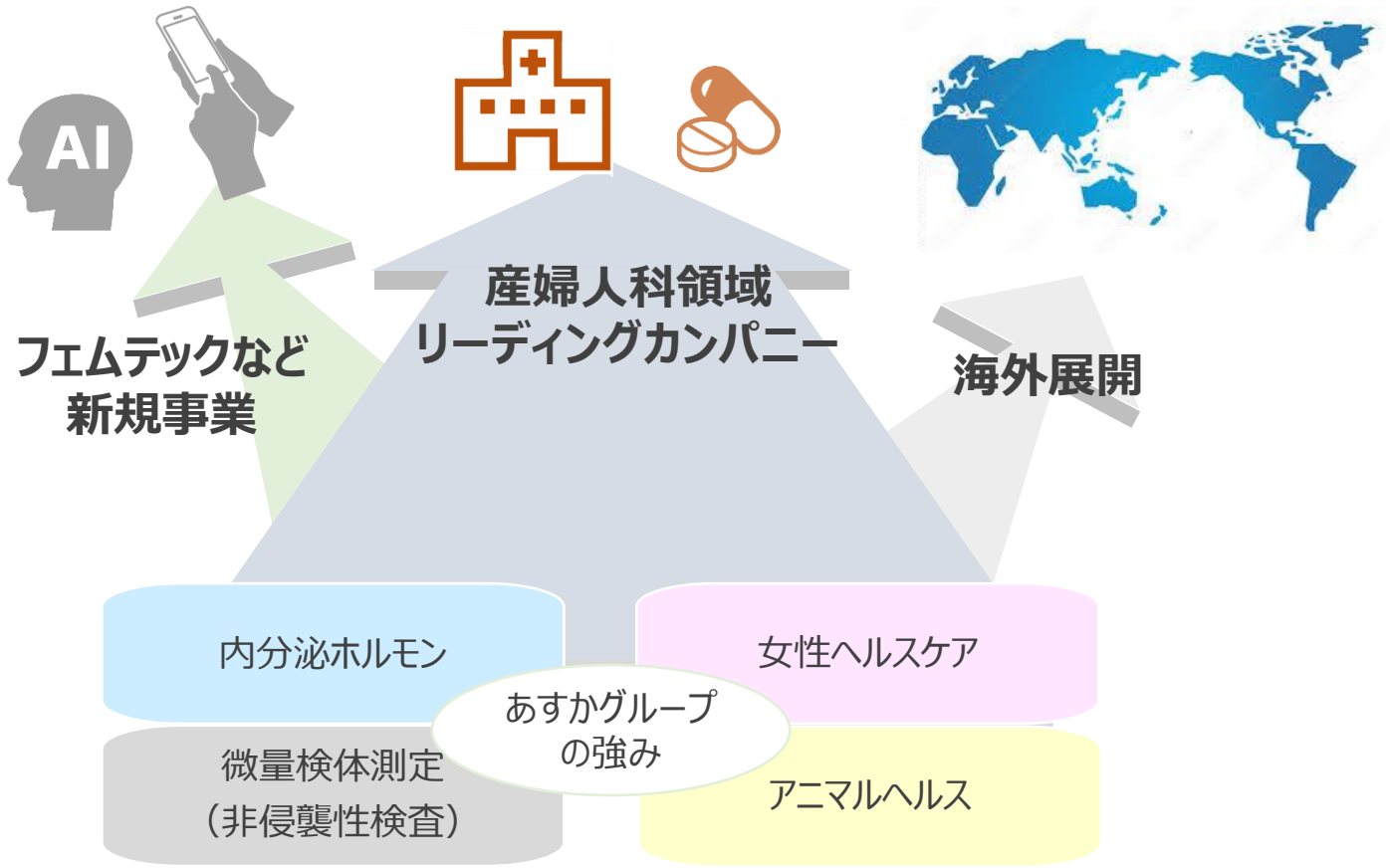
✓ 一方でPBRは2019年3月期以降1倍割れの状況が続いている。成長戦略の実現性が十分に理解されていないこと、また、具体的なキャッシュアロケーションの開示がなく、成長戦略および株主還元において明確な方向性を示していなかったことが要因であると評価。

【改善に向けた方針】

市場評価の改善に向け、決算説明会やパイプライン説明会などの実施を通じ成長戦略を発信するIR活動を強化する。また、成長戦略の実現性を高めるとともに、株主の皆様への期待に応えるため、最適なキャッシュアロケーションを検討し、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて対応をしていく。政策保有株式については純資産に占める比率を2024年3月末までに20%未満として、継続的な縮減を図っていく。

具体的な取り組み　① 成長戦略

トータルヘルスケアカンパニーへ



成長戦略の実施

● **医療用医薬品事業**
産婦人科領域でリーディングカンパニーとしての立ち位置を更に強化

● **新規事業の確立**
トータルヘルスケアカンパニーとしてフェムテックなど医療用医薬品周辺領域における新規事業の確立

● **海外展開**
成長を続ける東南アジア市場を中心に海外へ展開

具体的取り組み　① 成長戦略

将来の成長に向けたキャッシュアロケーション

FY2020-2022

（過去の内訳）

営業CF 127億	成長投資 経営基盤の強化	67億
	負債返済 その他	45億
	株主還元＊	16億
固定資産売却等 103億	手元資金増	102億

＊配当＋自社株買い

FY2023-2025

成長原資	投資の方向性		目的	配分
営業CF※ 200億	成長投資	医薬品事業	研究開発、事業開発強化によるパイプライン拡充	150億＋α
		新規分野	フェムテック、CVC、デジタルヘルス	
			検査、アニマルヘルス（CA）	
		海外展開	東南アジアでの事業確立	
政策保有株式売却に伴うキャッシュ 30億		M&A	成長に必要な能力獲得	
	経営基盤の強化		生産設備更新・拡充	30-40億
			デジタルトランスフォーメーション	
			人的資本への投資	
資金調達（＋α）	株主還元		配当、自社株買い	30-40億

※想定営業利益＋減価償却費＋研究開発費（除く固定費）

✓　自己資本比率　50%超は維持

参考 2023.3月	現金同等物　175億 有利子負債　126億

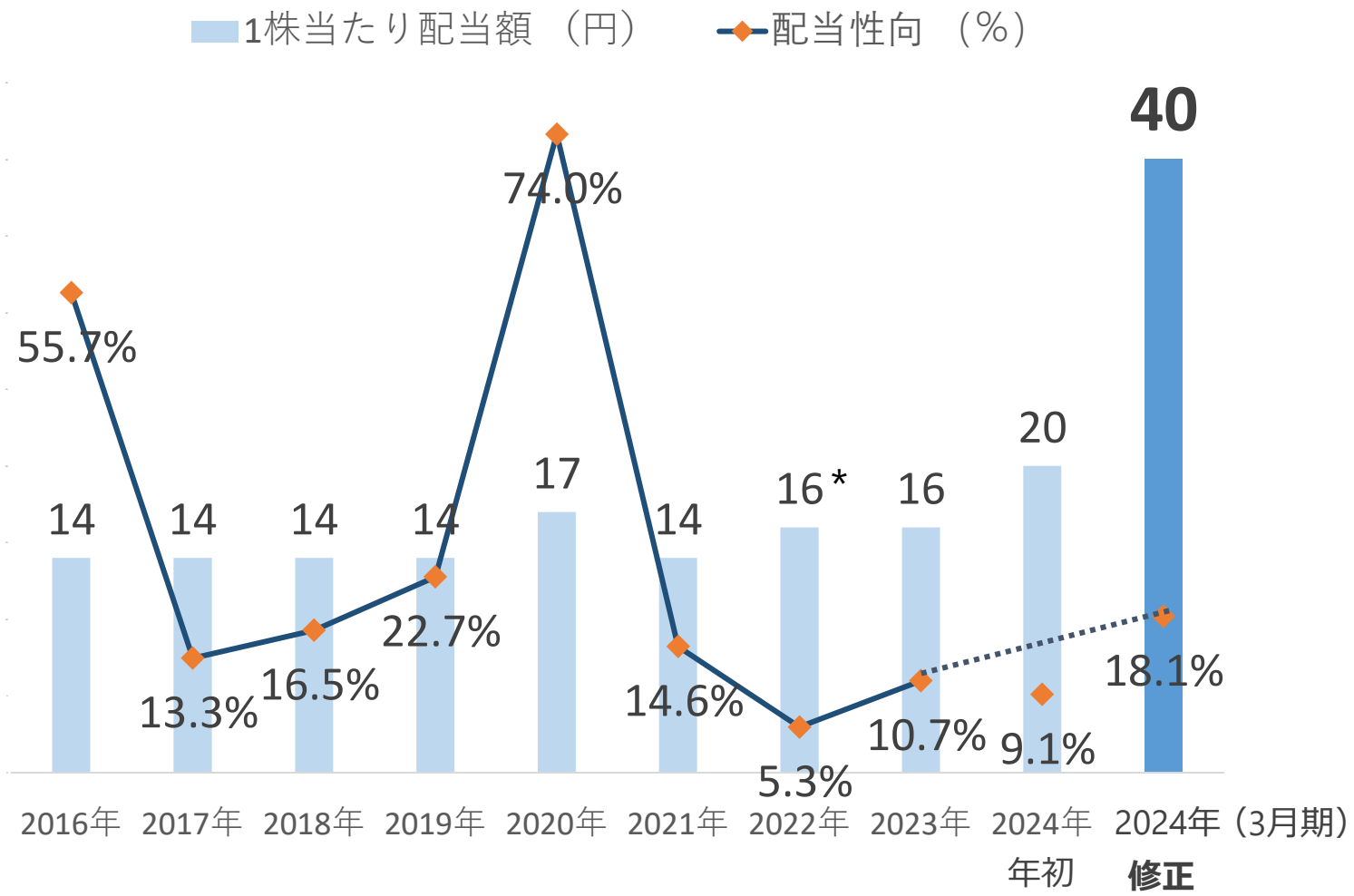
具体的取り組み　② 株主還元の強化

◆ 株主還元方針の見直し

- ✓ 2024年3月期は堅調な業績に加え、政策保有株式売却に伴う特別利益を勘案し、一株当たり配当金を40円に増配予定。
- ✓ 25年3月期以降は業績連動利益配分として、連結配当性向30%を目安とする。また、一株当たり配当金の下限は年間30円として、業績に連動した利益還元を行いつつ安定的な配当を維持する。

◆ 自己株式取得の検討

- ✓ 成長投資、配当水準、手元資金や株価水準などを総合的に勘案して機動的な対応を検討する。



*2022年3月期の中間配当は、その他資本剰余金からの配当であり、配当性向から除外して算出しています。

具体的取り組み　③ IR活動の強化

- ◆ 個人投資家、機関投資家向け決算説明会の強化
- ◆ 株主や投資家との建設的な対話（IRミーティング）の継続
- ◆ スモールミーティングやパイプライン説明会など、新たな対話の機会創出
- ◆ IRミーティングなどで得られた意見について、適宜取締役会に報告し、レビュー実施
- ◆ ホームページ掲載情報および、英訳対応の拡充による情報開示の充実



機関投資家向け決算説明会
（Web開催 5月、11月）



個人投資家向けIRセミナー開催
（2023年2月、8月　アーカイブ配信中）

個別IR面談回数
78回
延べ面談人数
98名

IR個別ミーティング(2023年3月期実績)